



全国学力学習状況調査について

先日（9月22日）、小学6年生と中学3年生を対象に実施している全国学力学習状況調査の結果を配布しました。6年生には、個票を配布しましたので、自身の状況を知り今後の学習に生かしていただきたいと思います。

今号は、国語・算数・児童質問紙（生活アンケート）について、本校の結果を分析し、お知らせいたします。それぞれの教科や生活の課題と解決策を今後の指導や教育課程の編成に生かしていきます。

国語

【課題】

- ・必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことの中心を捉えることができるということ。【話すこと・聞くこと】
- ・必要なことを質問しながら聞き、自分が聞きたいことの中心を捉えることができるということ。【話すこと・聞くこと】
- ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることができるということ。【記述】

【解決策】

- ・話し手が伝えたいことの中心を捉えるために、相手や目的を考えた言葉遣いを意識させ、日常的に適切な言葉遣いを指導していく。
- ・自分が聞きたいことの中心を捉えるために、表現された言葉の目的や意図をじっくり考えさせ、「さらに深める発問」をすることで力をつけていく。
- ・話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる力をつけるために、複数の叙述から考えさせたり、図や表を根拠に考えさせたり、根拠を明確にした表現ができるようにする。

算数

【課題】

- ・計算方法や図形の名前、性質など「知識・技能」の定着を図ること。
- ・百分率で表された割合と基準量から比較量を求めること。
- ・基準量、比較量、割合の関係を捉えること。
- ・目的に応じてデータの特徴や傾向を捉え考察すること。

【解決策】

- ・計算の方法だけを覚えるのではなく、なぜそうするのか等、理由を考え理解を深めていく。
- ・図形を描いたり、作ったりする活動を充実させ、様々な図形の性質を実感をもって理解できるようにしていく。
- ・百分率や割合について、具体物を使ったり、絵や数直線で基準量や比較量をイメージできたりできるようにして意味理解を図る。
- ・学習したグラフや表を他教科でも活用し、データ分析し考察する活動を取り入れていく。
- ・話し合い活動を多く取り入れ、自分の考えを伝え合う活動から、問題を解く方法やコツを学び合っていけるようにする。

児童質問紙より

このアンケートは、「朝食を毎日食べていますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」、「国語の授業は好きですか」など、家庭生活から授業等への取り組みまで多岐にわたり、63項目の質問に回答するものです。それぞれの質問に対して「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」、「当てはまらない」等で回答し、結果は児童個人にフィードバックせず、学校の傾向として集約され、全国や群馬県の傾向とともに、各学校に届いています。ここでは、伊勢崎市教育構想や学校経営方針と関連する項目や、特に顕著な傾向が見られた8項目について結果を紹介させていただきます。なお、あくまでも学校全体としての比較なので、個人の実態と合わない場合もあることをご理解ください。また、回答者は6年生ですが他学年の保護者の皆様におかれましても、当事者として共に受け止めていただければ幸いです。比較は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合で比べています。

①朝食を毎日食べていますか

②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

①～③について、県・全国より高い水準となっています。3項目共に昨年度は下回っていました。今後もさらに、各家庭のご理解ご協力を得ながら、食事や起床、就寝時間への関心を高め、安定した生活習慣を確立する必要があると考えます。

④自分には、よいところがあると思いますか

⑤将来の夢や目標を持っていますか

④⑤については県・全国よりも高い水準となっています。特に、⑤については県平均よりも約10ポイント、全国平均よりも約15ポイント上回っています。自分のよさに気付き前向きに頑張る子供が増え、多くが将来についても目標が持てていることがうかがえます。一方、挑戦することに対する積極性が見られない様子もあります。今後も「ほめる・認める・励ます」など自己肯定感を高め、自信を持つことができる声掛けが重要であると考えます。

⑥家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

県・全国より高い水準になっています。また、これとは別に家庭学習の時間を聞く質問では、「普段（月曜日から金曜日）、1日の勉強時間が1時間以上」と回答した割合も、県・全国より高い水準になっています。学校や家庭において、自主学習に前向き・計画的に取り組む意識が高まっていると考えます。

⑦人が困っているときは、進んで助けていますか

⑧いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

⑦⑧についてはいずれも県・全国を大きく下回る結果となっています。学習面でも生活面でも、積極性という部分に課題が見られます。引き続き学校では、教育活動全般を通じて、子供たちの道徳性・社会性・積極性を育む指導に努めて参ります。

学校では、これらの結果を踏まえ、引き続き一人一人の学習・生活面の向上、豊かな心と社会性の育成を目指して取り組んで参ります。ご家庭におかれましてもご協力よろしくお願いいたします。

令和5年度学校評価アンケート

7月4日に行いました「第1回学校評価アンケート」の計結果を先日（9月6日）に配布しました。おかげさまで回収率は8割を超えました。結果につきましては、今後の教育活動に生かし、子供たちのために役立てていきます。ご協力ありがとうございました。

第2回は、12月5日（火）に実施いたします。引き続きご協力をお願いします。